

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2010-143220(P2010-143220A)
 【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)
 【年通号数】公開・登録公報2010-026
 【出願番号】特願2009-283149(P2009-283149)
 【国際特許分類】

B 2 9 C 59/02 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

B 2 9 K 27/12 (2006.01)

B 2 9 K 33/04 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 59/02 B

H 0 1 L 21/30 5 0 2 D

B 2 9 K 27:12

B 2 9 K 33:04

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月2日(2012.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中間型プロセスで作られたポリマー型であって、型が光重合性モノマー及び/又はオリゴマーと、重合を開始する性能を有する光開始剤と、半フッ素化分子とを含む化学組成物で被覆されたポリマーキャリア目的物を含み、前記半フッ素化分子は前記化学組成物に可溶であり、前記化学組成物と共有結合する性能を有する化学官能基によって完全に又は部分的に終端される、ポリマー型。

【請求項2】

前記半フッ素化分子はテンプレート表面に対向する化学組成物表面の表面近傍領域に拡散する性能を有する、請求項1に記載のポリマー型。

【請求項3】

前記半フッ素化分子は $Y_p - X - CF_2CF_2O(CF_2F_2O)_m(CF_2O)_nCF_2CF_2 - X - Y_p$ 構造を有するPFPEコポリマーであり、Xは脂肪族ウレタンブロック、Yはアクリレート又はメタクリレート、m及びnは整数、及びpは1-3に等しく、コポリマーのPFPE部分の分子量は800-2000g/molである、請求項1に記載のポリマー型。

【請求項4】

前記化学組成物が重合可能な単官能又は多官能アクリレートベースモノマー及び少なくとも一つのフリーラジカル光開始剤を含む、請求項1から3の何れか一項に記載のポリマー型。

【請求項5】

前記化学組成物が重合可能な単官能又は多官能アクリレートモノマー、重合可能な単官能又は多官能エポキシド、及び少なくとも一つのフリーラジカル光開始剤並びに少なくとも一つのカチオン性光開始剤を含むハイブリッドである、請求項1から3の何れか一項に

記載のポリマー型。

【請求項 6】

前記化学組成物が重合可能な単官能又は多官能アクリレートモノマー、重合可能な単官能又は多官能ビニルエーテル、及び少なくとも一つのフリーラジカル光開始剤並びに少なくとも一つのカチオン性光開始剤を含むハイブリッドであり、完全なフォトン放射硬化ポリマー型が共重合されたアクリレート及びビニルエーテルと純粋なビニルエーテルのネットワークの相互貫入ネットワークを含むハイブリッドである、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載のポリマー型。

【請求項 7】

請求項 3 の化学式における前記 X が脂肪族ウレタンブロックであり、化学組成物が相互貫入ネットワークを含むハイブリッドである、請求項 3 に記載のポリマー型。

【請求項 8】

パターン形成されたテンプレートを化学組成物に押し付け、フォトン放射によって硬化し、その後型から取り出すことによる、任意の表面エネルギーを有するパターン形成されたテンプレートの使用を特徴とする、中間ポリマー型を形成するための方法。